



岐阜市芥見東・南コミバス

市コミュニティバスは地域住民と市、交通事業者でつくる運営協議会が運営し住民がルートやダイヤを決めている。みどりっこバスは2008年6月に運行を開始。今年4月25日に紅葉が丘公園のバス停から利用した住民の女性が乗車100万人目となった。

式典では芥見東・南地区コミュニティバス運営協議会の山田正行会長が「バスの中で話をしてつながりが

岐阜市の芥見東、芥見南地区を走るコミュニティバス「みどりっこバス」の乗客が100万人を突破し、記念式典が同市芥見南山のバロー芥見店で開かれた。

乗客100万人突破

園児が鼓笛演奏で祝う

記念式典

できるなど、『バス友』と言つ人もいる。さまざまな形でバスを愛して使っても

「えたら」と感謝を述べ、100万人目の女性と100万1人目の乗客に記念品を手渡した。

バスで乗客の乗降時の手伝いや行き先案内などを行う「ボランティアヘルパー」の代表者へ、日頃の感謝を込めて花束が贈られたほ

か、芥見幼稚園の年長児29人が鼓笛演奏を披露し、華々しく節目を祝った。

(大賀由貴子)